

地震調査研究推進本部 政策委員会  
第1回 総合的かつ基本的な施策の評価に関する小委員会  
議事要旨(案)

1. 日時 平成17年5月20日(金) 10時00分～12時00分

2. 場所 三菱ビル 地下1階 M1会議室  
東京都千代田区丸ノ内2-5-2

3. 出席者

[主査] 樋口公啓 東京海上日動保険株式会社相談役

[委員] 片山恒雄 独立行政法人防災科学技術研究所理事長

高杉 勲 三重県防災危機管理局長

林 春男 京都大学防災研究所教授

藤吉洋一郎 大妻女子大学文学部コミュニケーション文化学科教授

[政策委員会・地震調査委員会]

岡田 恒男 政策委員会委員長

津村建四朗 地震調査委員会委員長

鳥井 弘之 予算小委員会主査

廣井 脩 成果を社会に活かす部会部会長

[関係省庁]

尾崎 友亮 内閣府防災統括官付地震・火山対策担当参事官補佐

藤田 和久 総務省消防庁防災課震災対策専門官

中林 賢司 経済産業省産業技術環境局知的基盤課課長補佐

干場 充之 国土交通省気象庁地震火山部地震予知情報課課長補佐

宇根 寛 国土地理院地理地殻活動研究センター研究管理課長

渡辺 一樹 海上保安庁海洋情報部技術・国際課地震調査官

[事務局] 坂田 東一 文部科学省研究開発局長

西尾 典真 文部科学省研究開発局地震・防災研究課長

横山 博文 文部科学省研究開発局地震・防災研究課地震調査管理官

加藤 晃一 文部科学省研究開発局地震・防災研究課防災研究地域連携  
推進官

#### 4. 議事要旨

- ・議事等の公開について、事務局案（資料 評1 - (2)）のとおりとされた。
  - ・今回の評価は、基本的に内部評価であると理解しているが、この後に外部評価を行うこととなるのかという委員からの質問があり、本小委員会が行う評価は、内部評価であるが、委員については、地震調査研究推進本部に携わっていない方をお願いし、外部評価に近い形としたこと、なお、更に別の形での評価を行うことは、考えていないとの回答が事務局からなされた。外部評価に近いものを想定しているという点については、政策委員長からも同様な発言があった。
  - ・今後の評価の進め方についての検討に当たって、まず、地震の被害軽減を目的とするロードマップのようなものを作成し、それに照らしてこれまでの取組を検証していくことが有効ではないかとの意見が出された。
  - ・評価を行う際には、「現在の状況は、目標を達成できたか」と「何が将来必要とされているか」の二つの観点があるが、まず、今回重要視すべきは、「現在の状況は、目標を達成できたか」ではないかとの意見に対し、現在の目標達成度の評価は、必要最低限行っていきたいが、評価自体は柔軟性を持って行っていただければと考えているとの回答が事務局からなされ、この点については、政策委員長からも同趣旨の発言があった。
  - ・評価を行うにしても、調査研究の成果がどのように意味を持つのか、専門家でなければ、判断できない部分があるのではとの意見に対し、必要であれば、研究者等に説明を求めればよいとの意見が出され、また、事務局からも、あくまでも研究評価ではなく、政策評価との位置付けで行っていただきたいとの回答がなされた。
  - ・その他、評価に当たっては、具体的な地震の発生例も取り上げながら、これまでの調査研究が地震被害の軽減にどのように寄与したかを検証すべきといった意見、また、総合的かつ基本的な施策策定後に浮かび上がった高齢者対応や国と地方の役割分担の問題等についても考慮すべきとの意見、実績については、地震調査委員会や関係機関にも正式に照会するという手続きをとるべきとの意見等が出された。実績の内容を確定するに当たって、地震調査委員会や関係機関に照会する手続きをとることについては、事務局から今後対応する旨の回答がなされた。
- ・次回までに、ロードマップの原案を作成し、それを基に、今後の評価の進め方について更に議論を進めることとなった。